

【日野町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

個に応じた児童生徒への支援や基礎的な学力向上への指導方法を研究し、児童生徒全体の学力向上を図るため、ICT 環境の充実と積極的な活用により、個別最適化された学びの実現を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA スクール構想の実現に向け、タブレット端末の導入と通信ネットワークの整備を行い、令和3年度から本格的な ICT 教育をスタートするとともに、校務支援システムやデジタル教科書の導入により、ICT 環境の構築に向けた取り組みを進めてきた。

また、教職員が ICT 機器を活用できるよう支援するため、ICT サポーターを各小中学校へ配置し、授業支援や活用方法のアドバイスなど ICT 環境を効果的に活用できる体制づくりに取り組んだ。

学習面においては、授業支援ソフトの導入やデジタルドリルを導入し、児童生徒に合わせた学びが展開されるよう取り組むことで、すべての学校で ICT 機器を活用した授業が展開される環境を整えてきた。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的な活用

小中学校においては、ICT 機器を学びの道具として使用することが定着してきており、特に1人1台端末については、授業を進めるうえで必要不可欠なツールとなりつつある。

また、情報量の増加、活用場面が多様化してきていることから、さらなる ICT 環境の充実と安定した利用環境を確保することが必要となる。

その他、教職員によって ICT 機器の使用に大きな差が出ないように、ICT サポーター等の配置や研修機会の提供など、教職員に対する支援の充実を図る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

授業支援ソフトの活用等により、グループによるコミュニケーションや意見の共有など、児童生徒が積極的に授業に参加し、協働して取り組む授業展開に活用する。

また、児童生徒自身の自主的、主体的な学びへと繋がるよう、デジタルドリルをはじめ、個々に合わせた学習環境の確保に努める。

（３）学びの保障

特別な支援が必要な児童生徒や不登校の児童生徒など、多様な事情を抱えた子どもたちに対して、個々に応じた効果的な支援を行うことができるよう、ICT 機器の充実を図るとともに、効果的な活用方法の検討を進める。